

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価

第2期の計画期間は、平成30年度から令和5年度までです。令和3年度に中間評価を行った結果をまとめました。

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画：平成30年3月作成）の中間評価を踏まえ、最終年度までの目標値達成に向けて、生活習慣病の早期発見・予防に向け、事業の見直しを行いながら引き続き効果的なアプローチを進めていきます。

●長期目標：計画の最終年度までに達成を目指すもの

平成29年度をベースラインとしたとき、中間年度である令和3年度と比較した数値を以下に示します。

（評価：a改善、b維持、c悪化）

評価指標	平成29年度		令和2年度	評価
	男性	女性		
健康寿命	77.2歳	86歳	78.9歳	a
			85.6歳	c
主な死因の死亡率割合	がん	42.6%	52.8%	c
	心臓病	27.9%	28.3%	c
	脳疾患	19.1%	15.1%	a
	糖尿病	4.4%	1.9%	a
	腎不全	1.5%	1.9%	c
	自殺	4.4%	0.0%	a
1人当たりの医療費	入院	10,510円	12,690円	c
	外来	14,970円	15,620円	c
入院医療費	骨折	19,147千円	19,074千円	a
	統合失調症	19,003千円	14,961千円	a
外来医療費	糖尿病	40,085千円	39,512千円	a
	高血圧	35,076千円	22,519千円	a
	腎不全 (透析あり)	25,650千円	27,285千円	c
特定健診 有所見者割合	HbA1c	男性 44.3%	56.9%	c
		女性 52.5%	56.4%	c
	収縮期血圧	男性 51.8%	49.7%	a
		女性 48.9%	48.4%	a
	LDL コレステロール	男性 47.7%	47.0%	a
		女性 56.5%	52.7%	a
メタボリック シンドローム	予備軍	12.9%	16.4%	c
	該当者	19.2%	19.8%	c

※（データ：国保データベースシステム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う全国的な受診控えにより、青森県も受診率が下がっており県平均の1人当たり医療費は減少しているのに対し、田子町は受診率は下がっているものの医療費が1件30万円以上のレセプトが増加したことで、令和2年度は初めて県平均を超える結果となっています。

また、メタボリックシンドロームの予備軍・該当者とHbA1c（基準値）の基準以上の有所見者割合の増加をみても、新型コロナウイルス流行渦の外出控えから運動不足へつながり、気軽にテイクアウトができるようになったことで時間にとらわれず自宅内で飲食ができる状態になったことが肥満の増加や高血糖者増えた要因と推測されます。

「自分の健康は自分で守る」ことを実行できるように、健康診断の受診を促し、感染対策を行いながら健康教室及び運動教室の開催などできることを進めていく必要があります。